

平成27年度第1回志摩市子ども・子育て会議議事録

日時：平成27年7月30日（木）午後7時30分～午後9時6分

事務局(谷口)：開会の挨拶

所長：挨拶

事務局：委員の委嘱についての説明、出席者の自己紹介、配付資料の確認など。

須永会長：事務局からの説明をお願いします。

事務局：【志摩市子ども・子育て支援事業計画】について説明。その後、子育て支援課から資料順に大まかに事業説明。（食育課は欠席）・・・計画書に戻ります。P 6 0 放課後子ども総合プラン行動計画について説明。P 6 1以降は読んでおいてください。P 6 3は今回皆さんにお集まりいただいた会議等のことが記載されています。

教育総務課：修正箇所があり、資料1－3の小中学校再編事業の記述の中で、畔名小は削除してください。

須永会長：今から各委員に順に意見を聞きたいと思います。資料1を見ますと、簡単に言うといけないどの領域も確保できている。保育所にも希望どおり入所できているようなので今後の動向を見ていくことが必要だが、当面このままいけばいいかなと。ご意見は？

委員：希望通り？磯部在住なのに保育所は志摩町しか空いてないと言われたというような話をきく。みなさん希望どおり入所できている？

事務局：申請書は希望先を書いてもらい、勤務地等も考慮して、なるべく希望に添えるよう柔軟な対応をしていると思う。

須永会長：他に意見は？資料1－1について何か？後でも意見があればお願いします。資料1－2についてご意見は？乳幼児家庭訪問は引き続きされるということでしょうか？

健康推進課：そう考えています。場合によっては保健師も同行し、ウツ傾向になりやすい親をサポートしています。

須永会長：その親子が市外に転出したら、支援の情報は途切れる？

健康推進課：転出先の市の関係部署に伝えるようにしている。

須永会長：市内だけでなく全体でサポートする取り組みが必要と考えます。では、教育総務課の事業についてご意見は？統廃合していく中、子どもたちが通いづらくなることへの配慮はされていると思いますがどうですか？

委員：開校する新校舎ではプールは実施？

教育総務課：やる予定です。ともやまなどのプールも使えなくなり、災害面からもプール整備が必要なので。

委員：的矢小は、来年4月から鵜方小と一緒にになるが、通学手段は？

教育総務課：車2台で送迎予定です。

須永会長：資料1－4で意見はどうですか。

委員：「夢の教室」について、子どもの体力低下が目立つ。20年前は小学生は筋肉がすごくて腸がさわれなかった。腹筋が今の小中学生は無さすぎる。だから、一部の子どもだけでなく、志摩市の子どもみんなに夢の教室の事業を展開してほしい。体を日常的に鍛えられる場があるといいなと思う。また、自分は就学指導委員をしているが、介助員が全然たりない。指導員をつけてもらえず、授業がまともに受けられない児童が目立つ。もっと日頃の子どもの様子に目を配ってほしい。教科書がA4になったことで、小さい机で授業うけさせられている。やる気があるごく少数の優秀な子どもしか授業についていけない。イベントばかりアピールせず、日常的に子どもたちにもっと寄り添ってほしい。

須永会長：もっと日常的な目配りが必要ということですね。1980年代にゲームができてから地方の子が影響をうけて体力低下が著しかった。でも現在は、都会も関係なく体力低下がみられる。現代の環境が、どう学力・精神面に影響しているか自分も今研究中です。今の意見は非常に重要と思います。子どもたちが体力をつける機会が無くなっていくことが心配です。

委員：バスで送迎って、決まった場所から学校との往復？まったく歩かないの？

学校人権教育課：鵜方駅が停留所です。

委員：鵜方駅から歩いて学校へ？

学校人権教育課：学年によって登下校時間が違うので、それも配慮してバスをだします。

須永会長：生涯学習スポーツ課の事業への質問は？

委員：ブックスタートについて、最近絵本をめくれない子がいる。スマホしか使わないか

ら。メディアの使い方を教える必要があるのでは？スマホも利点はある。発達障害の児童も、スマホにとっても意欲的で取り組めたりするので。上手な使い方を志摩市で教える機会を作ってほしい。また、いじめが子ども同士結構あることを聞きます。友達関係が悪いせいで、頭痛もちの子が多いというのは問題。上下の学年が一緒になって、生活できる環境があれば人間関係がより豊かになり、いじめも減る傾向があると聞いたことがある。そういうのも取り入れて、子どもの環境を考えてほしい。

須永会長：いじめの起こる可能性はどこでもある。子どもの人権にかかわるから、非常にいじめはあってはいけないこと。大人がしっかり対応する必要がある。絵本は子どもにすごく影響与えます。特に小さい子。ただし、本をあたえるだけでなく親子のつながりにもっていくのは非常に難しい。保育士でなく、母が家で読み聞かせなければいけないと思う。また、近年、子どもが被害者・加害者になる事件が急増している。改めて親子関係の大事さを感じる。家庭での親子関係が影響するが、大人がきっちり対応していく必要を痛感する。特に夏休みは子が事件に巻き込まれやすい。また、防犯について言うと、高齢者の力を借りて散歩のついでなどに子どもたちを見守ってもらう活動もされている。市全体で子を守る体制になってきているのはいい傾向と思うが、取り組みをもっと進め、有効に機能していくようにしてほしいと思う。発展させていく必要がある。

ここまで27年度の事業計画の様々な状況を説明してもらいました。全体的に意見がありますか？4月にスタートして、これからだろうとは思いますが、随時見直していくことが大切です。この会議を充実させていきましょう。他の市でも会議をしているが、志摩市は人口減少率が高いのが目立つ。子どもがどんどん減ることへの大切な取り組みだと思います。他に意見等は？

委員：今回、資料提供してもらって課別に説明も受けましたので、またさらに具体的な意見が出せるような会議にしていっていただけたらかなと思います。

委員：今回の質問に対する回答はいただけますか？次回はいつですか？

事務局：今年度は2回計画している。2、3月あたりになるかと。

須永会長：その際、今回の質問への回答ができればしてもらいたいが、お願いできますか？

事務局：回答できる部分はもちろん、即答できないこともあるかと思うので、各課でできる対応をしてもらいましょうか。予算が必要となることであれば、次年度以降に・・・という感じでいいですか？

学校人権教育課：夢の教室について、普段の学校生活で取り組むことが必要と思うので、校長会等で提案したい。介助員の配置については、県下で1、2を争う

介助員の配置の充実です。多大な人件費をつけています。全ての支援が必要な児童に配置できればベストなのはわかりますが、厳しい財政状況の現状もご理解をいただきたい。

生涯学習スポーツ課：質問への回答ですが、できる範囲でなら、ブックスタートについて回答します。スマホといったメディアについては、教室等は難しい。家庭でしてほしいことなので。

委員：パンフレット等の意識啓発などではできると思う。親では気付かない。家庭での教育を親に教えるようなことをしてほしいと言っている。

生涯学習スポーツ課：うちの課では取り組めない範囲もある。7歳児を対象とした事業なので…。母親が読み聞かせる事業なので。

委員：その事業の一環として、親に教えることが必要な時代ですよ、と言いたいんです。

須永会長：だいたい時間となりましたので、そろそろ事項書のその他に移ります。事務局からどうですか？

事務局：報酬等の事務連絡

須永会長：他の連絡事項がなければ、次回、2、3月にまた会議を開催と考えておいてください。本日言えなかった意見は、次回に備えておいてください。次回はこの事業計画書は必要ですか？

事務局：必要なので持ってきてください。

須永会長：では、他になければ、この会議を終わります。ありがとうございました。